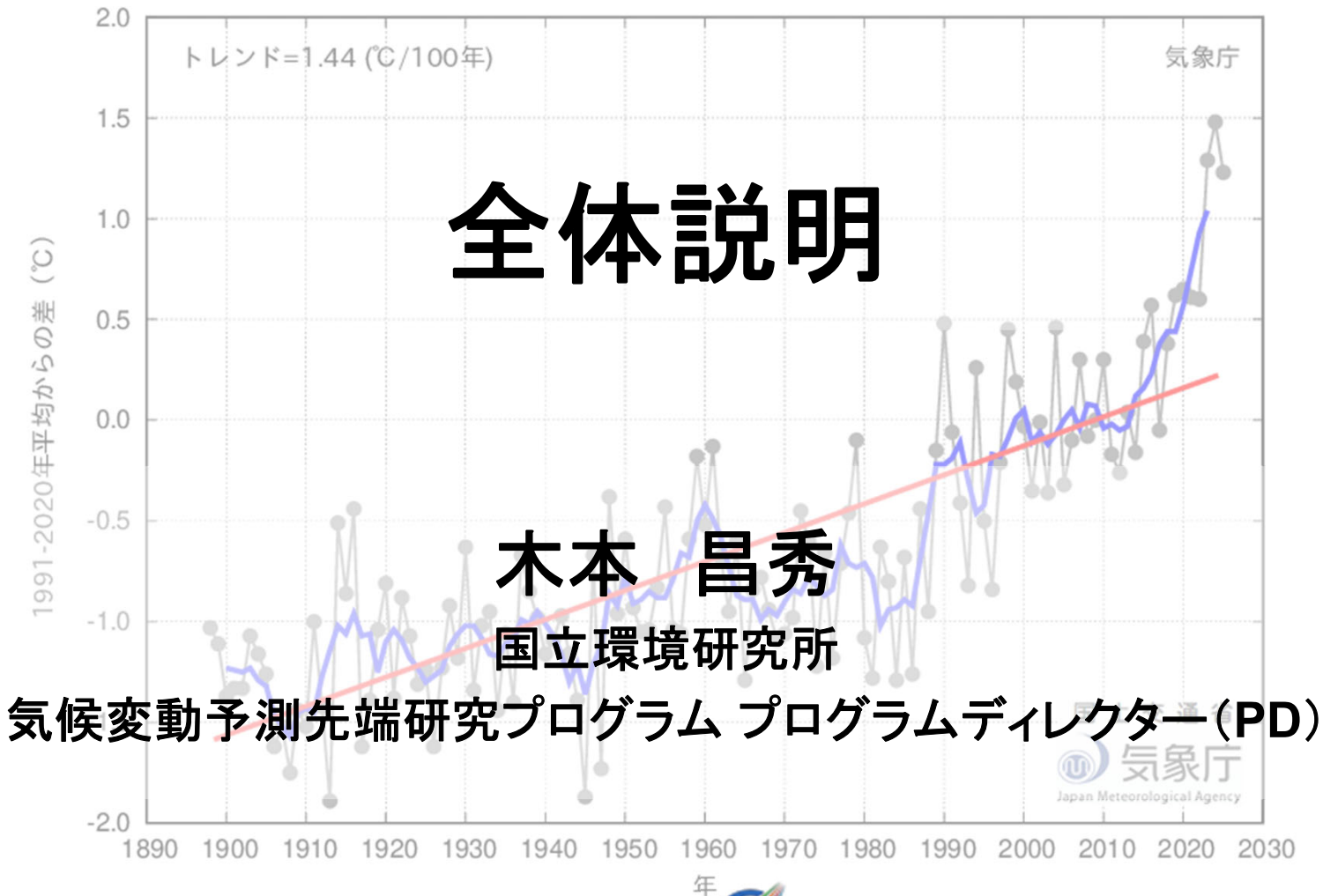


研究成果報告会

日本の年平均気温偏差



全体説明

木本 昌秀

国立環境研究所

気候変動予測先端研究プログラム プログラムディレクター (PD)



[MEXT-Program]
SENTAN

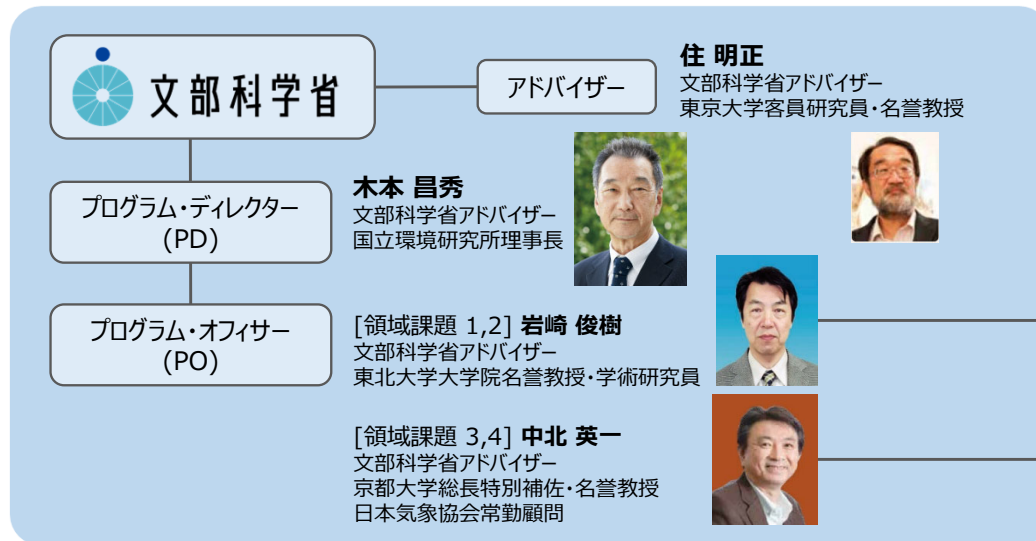
気候変動予測先端研究プログラム

本研究プログラムでは、気候変動適応策・脱炭素社会の実現に向けた緩和策に活用される科学的根拠を創出・提供することを目指します。



SNENTAN Program Overview

実施体制



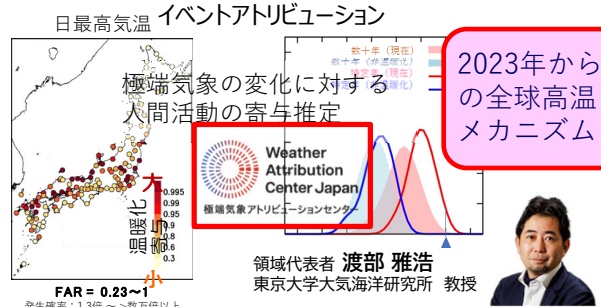
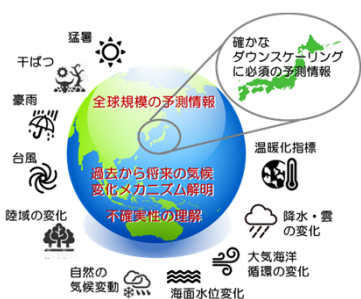
ターゲット・概要

- 気候変動予測先端研究プログラムにおいては、気候変動研究の基盤的な研究を継続し、**気候変動研究の基盤**を支える。
- ユーザーニーズを踏まえ、**地域別予測、近未来予測、AI活用**といった最新動向に対応し、**国際競争力の向上**や**社会実装（気候変動対策）**のために**必要な取組**を推進する。



エビデンスに基づく地球システム変動の理解と予測

- 気候・極端気象変化の理解と予測

領域代表者 **渡部 雅浩**
東京大学大気海洋研究所 教授

教授

生態系や人間活動を含んだ地球環境モデルを構築し、
気候変動対策の意思決定に貢献する



- 地球システムモデルの開発・応用
メタン・N₂O・エアロゾル、永久凍土融解、
極域氷床、森林火災…
- 緩和シナリオに対する地球環境の応答
カーボンバジェット評価

アマゾン熱帯雨林～
ティッピングポイント？

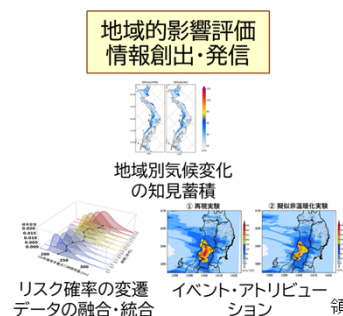
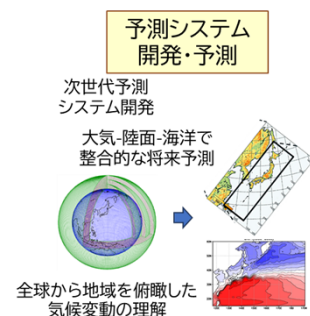
領域代表者 **河宮未知生**
海洋研究開発機構 センター



「行動につながる気候科学」を目指し、気候変動ナショナルシナリオ構築に向けた研究を推進する

- ダウンスケール
- 気候予測データセット

次期気候予測データ
再エネポテンシャル
大雨頻度増加



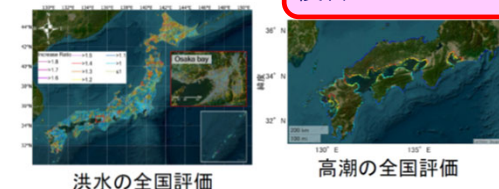
領域代表者 **辻野 博之**
気象業務支援センター 室長



風水害・水資源のプロセスモデル高度化・統合化と
防災気候情報等の極端現象の将来予測



- 極端高潮・洪水・台風
複合ハザードモデル



領域代表者 **森 信人**
京都大学防災研究所 教授



目標およびタイムライン

